

令和7年度 第2回 磐田市遠江国分寺跡整備委員会 議事要録

- 1 開催日時 令和8年1月27日(火) 14:45～16:00
- 2 開催場所 磐田市役所西庁舎 302・303 会議室
- 3 出席者
 - (1) 整備委員：
上原真人（委員長）、平野吾郎（副委員長）、石上英一、中島義晴、鈴木智大
松野正比呂、平田直巳、澤元教哲、小杉達、小杉泰久、兼田清
 - (2) 静岡県文化財課：立木菖
 - (4) 事務局：磐田市教育委員会文化財課 神谷、室内、竹内、鈴木
磐田市建設部都市整備課 堀尾

次第

1. 開会
2. 現地視察
3. 正副委員長あいさつ
4. 静岡県文化財課あいさつ
5. 議事

【報告事項】

- (1) 令和7年度遠江国分寺跡整備事業の報告について

事務局

今年度の2期の整備工事のうち、1期工事は木材調達に時間がかかった影響で来年度9月25日まで工期延長し、事業繰越する。2期工事は予定通り年度内に完了の予定。

〔質疑・意見〕

委員金額の変更は。

事務局ない。

委員調達が遅れたのは部材そのものか、加工処理か。

事務局兵庫県からの部材の調達を考えていたが不足があり遅れが生じた。

- (2) 令和8年度遠江国分寺跡整備事業の予定について

事務局

来年度の事業は以下の4つである。

- ① 整備工事 講堂・僧房周辺の造成・芝張り、照明、解説板4基の設置
- ② 四阿の建設
- ③ 木製燈籠の製作 8～10年度の3ヶ年をかけて製作 8年度は木材の調達
- ④ 築地塀実施設計（排水・造成）・トイレ兼展示スペース基本設計（9年度に実施設計）

〔質疑・意見〕

委員 トイレ兼展示スペースの方向性は。

事務局 来年度にかけて庁内調整を行い、とりまとめた後整備委員会に諮る予定。

委員 四阿のデザインは。

事務局 令和6年度の実施設計に基づく。

【審議事項】

(1) 木製燈籠の整備について

事務局 前回の委員会の意見を受け、ヒノキ材に変わる材料としてスギ材を検討し、浜松市天竜区にあるスギ材の視察を行った。樹齢400年を超える天然スギの良材で、価格もヒノキ材と比べ半額近くに抑えられるものがあることを確認した。

また、文化財や歴史的建造物の経験がある技術者に製作を委託する案を考えている。

〔質疑・意見〕

委員 廃材のようなイメージだが価格は低くはないのか。

委員 天然記念物クラスの材なので値段はすると思う。史跡に使うということで特別に協力してくれる。

委員 ヒノキに比べ強度に問題はないか。

事務局 一般的にはヒノキのほうが耐久性は高いが、今回視察したスギは目も詰まっており、ヒノキと比べても劣らない。いずれにしても定期的なメンテナンスは行っていく。

委員 10年経過しているということですぐ使える木ということか。

事務局 粗割り後、1年間の乾燥期間は必要。

委員 節もなくすごい木だと思う。

委員 この材を使用することを仕様で書けるのか。

事務局 材の大きさを指定する。落札業者には材を案内する。

委員 登呂遺跡などでもスギ材の使用が多いので静岡の史跡に意味がある。

委員 動画を撮っておくと、後の活用するとき使えるのでは。

事務局 動画を撮りため、SNSなども活用したい。

(2) 整備計画の軽微な変更について

事務局

① 東側の園路2ヶ所をずらし、門があるような誤解を招かないようにすると同時に築地堀の施工延長を伸ばす。

② 当初残置予定だったヤマモモの樹勢が衰えている。太い枝が落下したこともあり、伐採するという方針に変更したい。

〔質疑・意見〕

委員 ヤマモモの木で人があるとたいへんなことだ。切らざるを得ない。

(3) 案内看板の仕様について

事務局

字体をユニバーサルデザイン・楷書体・明朝体の3種類選んでみた。どんな書体がいいのかの方向性と、白地に黒文字でよいのかを確認したい。

〔質疑・意見〕

委員 市内の他の看板との整合を検討したほうがいい。

委員 親しみやすい字体という方向性で。

〔その他〕

委員 燈籠について、先ほどの審議で、スギ材という方向性は決定ということでよいか。

委員長 そういう方向性だと思います。

6. 閉会